

仕様書（案）

1 業務名称

札幌国際芸術祭 2020 開催に伴う事業効果検証業務

2 業務目的

本業務は、SIAF2020 開催に先立ち事業効果を検証するための手法を構築し、会期中・終了後に必要な調査を実施したうえで分析・検証を行うとともに、今後の取組の方向性を検討することを目的とする。

3 業務実施期間

契約締結日から令和 3 年 3 月 31 日まで

4 業務内容

(1) SIAF2020 効果検証手法の策定

ア 委託者が提示するロジックモデルをベースに SIAF2020 の効果検証の枠組（ロジックモデルの作成と評価指標（経済波及効果※を含む。）の設定）を作成する。枠組作成に当たっては、事務局スタッフ、関係者等へのヒアリング等を適宜行い、事業計画（本業務と並行して策定する場合もある。）との齟齬がないようにすること。

※経済波及効果については、下記についてそれぞれ算出すること

①SIAF2020

②SIAF2020 プレイメント等、札幌国際芸術祭実行委員会が 2020 年度に実施する SIAF2020 以外の事業（実施事業一覧、参加者数については委託者が提供する。）

イ 委託者と協議の上、アの枠組に基づき取得すべきデータ等を整理し、各種データの測定方法を検討・決定する。

①アンケートにて取得する項目においては、性別、年代、居住地といった属性を含むものとする。

②その他関係者や有識者等へのインタビューやレポートの依頼についても、委託者に提案するものとする。

③SIAF2020 の効果検証にあたり、必要となる下記の基本データについては委託者がデータを取得・集計した上で、受託者に提供するものとする。

（ア）会場毎の来場者数

（イ）チケットの販売枚数

（ウ）ボランティア活動参加者数

（エ）その他、協議の上、委託者側でデータ取得することが相当と委託者が認めたもの

(2) SIAF2020 における定量・定性調査

(1) イにより決定した調査の実施。但し、各会場における来場者へのアンケートへの協力の声掛けについては、別途委託する各会場の監視員やボランティアスタッフにより行なうことができるものとする。

(3) 調査結果の分析・検証

(4) 報告書の原稿作成（印刷・製本は委託者が行う。）

5 成果物等及び提出期限（予定）

- | | |
|-------------------|-------------|
| (1) ロジックモデル及び評価指標 | 令和2年6月まで |
| (2) 調査計画書及び調査項目 | 令和2年10月まで |
| (3) 調査結果概要 | 令和3年2月まで |
| (4) 検証結果報告書 | 令和3年3月31日まで |

6 留意事項

- (1) 受託者は、業務の遂行上知り得た秘密を外部に漏洩してはならない。
- (2) 受託者は、業務の実施にあたり必要な準備、資料の作成、事前の打合せ等を行うこと。
- (3) 受託者は、業務の進捗状況を常に検証するとともに、その状況について委託者に報告をすること。また、資料については場合によっては図化するなど分かりやすいものを作成すること。
- (4) 業務に質疑が生じた場合は、委託者と協議し、指示を受けること。
- (5) 業務の履行に当たっては、環境負荷の低減に努めること
- (6) 本仕様書に記載されていない事項については、委託者と受託者で協議の上決定するものとする。

7 問合せ先

〒060-0001

札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階

札幌国際芸術祭実行委員会 事務局 小林、小田原

電話：011-211-2314 FAX：011-218-5154